

十五石。死人男女七人。 水戸鶴千代殿
 一、近江國大溝領。水損高六千貳百拾貳石五斗。 二萬石 分部和泉守
 一、江州堅田領。滋賀郡三月洪水閏五月朔月より十日迄大雨。損亡高貳千四百七十石。 一萬石 堀田大和守

一、出雲國松江領。蝗災に付損亡拾貳萬石餘有之候。 十八萬六千石 松平幸千代
 一、雲州廣瀬。當秋蟲入損亡八千石。 三萬石 松平式部少輔
 一、泉州岸和田。蟲入損亡二萬五百石餘。 五萬三千石 岡部美濃守
 一、伯州・因州之内損亡高拾萬石 三十二萬五千石 松平相模守
 一、攝津淺田並備中之内。蟲入損亡貳千九百二十石。 一萬石 青木甲斐守

一、羽州米澤十五萬石。内四萬千三百拾石。 上杉彈正大弼
 一、大御目付衆より重て書出の事
 先達て相觸候通、駿河・遠江・三河・尾張・美濃・伊勢邊御料。

私領より、八木大坂へ可相廻に付て、拂米・商賣米の船、此方より指圖有之迄は、江戸入指留可相返候。御年貢米・武家扶持方米は、御代官領主より斷次第可相通旨、浦賀奉行へ申渡候間、可被得其意候。 右の趣可被相觸候。以上。

子 九月 月
 一、拜借金被仰付候面々
 九月二十八日於殿中、被仰渡拜借の御面々拾八人。 損亡高二百四拾五萬六百日
 拜借金拾五萬九千兩
 同日老中松平左近將監殿宅にて、被仰渡候御面々二十七人。 損亡高三百六拾三萬二千八百七拾石
 拜借金二拾一萬九千兩
 惣御人數四拾五人
 惣金高三拾七萬八千兩
 惣損亡高六百八萬三千四百七拾石
 右者廻狀之寫に候。御人數並御書出の寫如左。
 松平大隅守 二十七萬石 松平相模守 三萬石
 松平左京大夫

四十二萬五千石 松平安藝守 三十一萬五千石 松平大炊頭 五十二萬石
 十萬石 伊達遠江守 二十四萬二千石 松平土佐守 三十五萬七千石
 三十六萬九千石 松平大膳大夫 五十四萬五千石 細川六丸 十八萬六千石
 十一萬九千六百石 立花飛驒守 有馬中務大輔 十萬石 宗對馬守
 十五萬石 松平隱岐守 小笠原遠江守 十萬石 阿部伊勢守
 四萬石 松平遠江守 牧野越中守 七萬四千石 中川内膳正
 七萬石 土井大炊頭 松平主殿頭 六萬三千石 松浦肥前守
 五萬石 加藤遠江守 岡野美濃守 五萬石 伊藤修理亮
 五萬四千石 松平周防守 稻葉能登守 五萬石 黒田甲斐守
 四萬三千石 龜井因幡守 松平筑後守 三萬三千石 松平市正
 三萬七千九百石 大村河内守 嶋津但馬守 三萬石 秋月長門守
 二萬五千石 木下主税 相良遠江守 二萬二千石 松平對馬守
 二萬石 毛利周防守 伊達若狹守 一萬三千五百石 久留嶋信濃守
 一萬石 小笠原近江守 立花出雲守 一萬石 一柳兵部少輔

右は西國・四國・中國當稻作毛、夥敷蟲付損亡の段追々相聞
 え候。常躰の事に候得共不及御沙汰儀に候。火災又は損亡等の儀、様子次第により參勤等御用捨も可有之候得共、一同の事故左様の儀も難被仰出候。然共此度格別の事に付、當所務半物成以上不足の分は、拜借金可被仰付候。御領所も同前の事に、夫食等御入用も多候間、被思召候様には難被遊事に候。用に立候程には有之間敷候得共、拜借金可被仰付候。物成の儀に付候ては、杉岡佐渡守・細田丹後守様子承届候上、拜借金相渡にて可有之候。但爲御禮西丸へは不及被罷出候。並老中へ不及被相廻候。拜借金相渡候以後、老中右京大夫・豊前守・若年寄中迄可被相廻候。
 壹萬石より壹萬九千石迄 金二千兩
 二萬石より三萬九千石迄 金三千兩
 四萬石より四萬九千石迄 金四千兩
 五萬石より六萬九千石迄 金五千兩
 七萬石より九萬九千石迄 金七千兩
 拾萬石より拾四萬九千石迄 金壹萬兩
 拾五萬石より拾九萬九千石迄 金壹萬貳千兩
 貳拾萬石より二拾九萬九千石迄 金壹萬五千兩